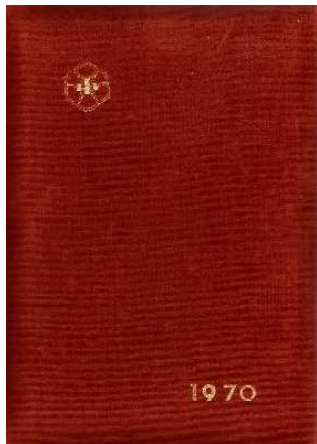




50周年に向けて、各学年から記事を集めています。
今回は2年生です。ぜひご覧ください。

変わる行事、変わらぬ行事

昭和45年3月。第1回の卒業アルバムをめくると、楽しかった行事の写真が掲載されていました。運動会、八ヶ岳林間学校、5・6年生合同での飯能市「子の権現」への遠足…。今と変わらぬ行事が行われていたことがわかりました。卒業アルバムの記事を読むと、開校当時は、春の小運動会と秋の大運動会、春の遠足と秋の遠足と、大きな行事が年に2回ずつ実施されていたこともわかりました。



【第1回卒業アルバム】

現在は運動会も遠足も年に1回になりましたが、今年度は新たに十三小フェスティバルが始まり、2020年の東京オリンピックに向けてオリンピックから話を伺うという「夢・未来プロジェクト」の取り組みも行われました。

学校行事は伝統を引き継ぐとともに、時代に合わせた内容に変化していることがわかります。しかし、昔も今も、行事を通して子どもたちが人と関わり合い、成長をしていく場になっていること、子どもたちの大きな思い出になっていることには変わりありません。10年後、20年後、どんな時代になり、十三小ではどのような行事をしているのか。想像してみるのも楽しいですね。
(2年 学年主任)

